

海外大学院出願に際する現行 GPA 制度の問題点について

【ご質問・ご要望】（投稿日：2019年12月21日）

私は社会科学系の専攻でイギリスの修士課程に出願している四回生です。
その際に現行の GPA 制度に関して疑問に思う点があったため、意見箱にメールしました。

お聞きしたいのですが、現行の GPA 制度が 4.0 点満点ではなく 4.3 点満点になっているのは、いかなる理由によるもののでしょうか。

大学院に出願する際、当然ですが GPA を記入する欄があります。その際、4.0 点満点と 4.3 点満点では、要求される GPA の値が異なります。京大における現行の GPA 制度では、特に全学共通科目において A+ を取ることが 96 点以上という点数の設定上非常に難しくなっています。（私の学部では専門科目で 90 点以上が A+ なので、こちらは多少現実的な評価になっているとは思いますが）。それにも関わらず、海外大学院の出願時には GPA を 4.3 スケールで記入しなければならず、他校の出願者と比べて京大生はある程度不利な状況に立たされているように思います。

仮に特に優秀な成績を修めた者に対して、追加点のような形で 4.3 ポイントを与えているならば、先述の理由から 4.0 ポイントスケールの中で評価する形に改めた方が、学生の進路上はよろしいかと考えています。

もう一点は要望ですが、最近期末の通知表に出るようになった専門科目の GPA を、公式の成績証明書にも記載して頂けないでしょうか。現在の専攻に直結する大学院に出願する場合、専門科目の GPA を記載できるのは大きなアピールになります。

以上、質問と要望でした。

私はもう出願を終えているので、要望を出したところで何か受益できるわけではありませんが、今後海外大学院に出願する京大生は増えてゆくでしょうから、見知らぬ後輩たちのために一人の出願経験者の意見をお届けしました。よろしくお願ひ申し上げます。

【回答】（回答日：2020年2月7日）
（教育推進・学生支援部教務企画課）

貴重なご意見をいただきありがとうございます。

1. GPが4点満点ではなく4.3点満点となっていることについて

本学では、海外の主要大学での事例を参考に、各学部・研究科等の意見を聞きながら成績評価基準と併せて検討を重ね、平成27年度から4.3点満点のGPを導入するとともに、各学部及び国際高等教育院における平成27年度以降に入学した学生を対象としたカリキュラムが適用される者に係る成績評価を、6段階、2段階、素点の3種類から選択して実施することとしました。A+を追加点として扱っているわけではありません。

2. 成績証明書への専門科目のGPA記載について

本学では、学生の自律的な学修の促進及び学生に対する学修指導等に活用することを目的としてGPA制度を学部を導入していることから、成績証明書には修得した科目の成績のみを記載し、原則としてGPAは記載しておりません。ただし、特に必要がある場合に限り、累積GPA並びに在学全期間においてGPA算入科目のうち履修登録した科目の総単位数を記載した成績証明書を学生の所属部局において発行することとしています。専門科目のGPA記載については、所属学部の教務窓口へ御相談ください。